

10月1日から 住居表示を実施

住居表示制度は、土地の地番による住所から、道路などに沿って規則正しく連続した住所に区域全体で住所を付け直すことです。

住居表示実施に伴い、住所が一斉に変更になります。対象となる方は、運転免許証、顔写真付き住民基本台帳カード、在留カード、外国人登録証明書、特別永住者証明書、金融機関、保険会社、法人(商業)登記簿など、各住所変更のご協力をお願いします。

なお、新住所決定通知書を8月上旬に、住所変更手続きの案内および関係書類は9月上旬に送付予定です。

対象地域 天神町一・二丁目(回田道の西側を除く)、大沼町一丁目(西武新宿線の南側)

※天神町は、一丁目から四丁目に分割されます(西武新宿線南側の大沼町)

第2次行政再構築プランの 平成24年度末の進捗状況 および 平成25年度当初の計画

市では、限られた財源や人的資源の中で、市民本位の質の高い行政サービスを効果的に提供していくため、「小平市第2次行政再構築プラン」に基づいた取り組みを進めています。

平成24年度末の進捗状況は表1の通りです。

行政再構築推進委員会における意見・助言は表2の通りです。



町一丁目、天神町二丁目となりま(800字程度)と、応募用紙に必要事項を記入のうえ、問合せ先へ(送付、ファクシミリ)、電子メール可) ※応募要領などは児童課(市役所2階)などで配布しています。また、小平市ホームページからもダウンロードできます。

子ども・子育て 審議会委員募集

子ども・子育て支援の施策や事業計画の策定、実施状況などを調査審議する審議会です。子育て当事者の意見を反映させるため、男女を問わず委員を募集します。

応募資格 ▽市内に住所を有し、応募時に、0歳から小学生までのお子さんがいる保護者
▽年4回程度、平日の午後開催する審議会に出席できる方
※他の審議会などの公募委員は応募できません。

募集人数 7人以内
任期 平成27年3月31日まで
報酬 1万2千円(日額)
申込み 7月19日(金)の午後5時までに、「市の子育て支援事業に対する評価と課題」をテーマにした作文

▽退職者
吉富泉(四小校長)、若林彰(前六

表1 各プログラムの進捗状況(平成24年度末)

分野	予定以上に進捗(S)	予定どおりに進捗(A)	予定よりも遅れている(B)
I 地域協働の推進(15項目)	1	13	1
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション(5項目)	1	4	0
III PDCAサイクルの構築(7項目)	0	7	0
IV 財政基盤の強化(18項目)	0	14	4
V 執行体制の再構築(17項目)	0	17	0
計	2	55	5

※第2次行政再構築プランは、市政資料コーナー(市役所1階)、図書館、公民館でご覧になれます。また、市政資料コーナーでは販売もしています(一部百円)。

※第2次行政再構築プランの進捗状況、委員意見などは、小平市ホームページでもご覧になれます。
問合せ 行政経営課☎042(346)9756

表2 行政再構築推進委員会における主な意見・助言

意見の分類	委員からの意見の要旨
プラン全般	各プログラムで、目標達成したらプログラム自体を終えるのか、新たな目標を設定するのか。見直しは状況の変化に応じて実施していくべきで、もう少し市民の目線に立って頻度を上げて取り組むべき。 市全体で大きな課題設定をして、スクラップアンドビルドを実施できないか。市から示されたスクラップの総額が、1桁、2桁少ないと感じる。従前から、市財政は厳しいと説明されていて、改善する場合も悪化する場面もわずかで、財政の硬直性が高い。こうした点は、いずれ職員のモラルにも影響してくる。 S、A、Bという評価は何のためにあるものかを再度捉え直してもらいたい。現時点での進捗に対する評価だけではなく、今後に向けて取り組みを進めていくための評価ではないのか。成果指標が未達成、または計画通りの内容を実施できなかった取り組みについて、総合的に見てA評価とするよりも、最終的な目標達成に向けて、どういう方向性であるべきかという視点から評価をするべき。
地域コミュニティの形態や期待される役割等についての検討	地域連絡会の参加団体に、コンビニエンスストアや事業所がなぜ入っていないのか。安心・安全の観点からは、消防、警察も入ってほしい。いろいろな団体が参加しているが、行政が対処しやすい団体を集めただけのように見えるので、もう少し踏み込んでほしい。CSR*の観点からすれば、コンビニや他の事業所も地域に貢献していきたいと考えていると思うがどうか。 地域連絡会は一つの進捗した要素である。他部門で実施している協働の取り組みも横方向に展開していき、各組織が横の取り組みを知るという積み上げが重要である。協働は目的ではなく、手段だから、ハンドブックという形にするだけではなく、生の情報を横方向に展開する必要がある。行政に対する市民ニーズを、縦割りで受けるのは難しいため、常に他組織との連携を意識しながら、成功、失敗にかかわらず事例を積み重ねていってほしい。
新聞やテレビ等を通じた情報発信の充実	地域コミュニティづくりを含めて、市民の市政への参加意識や行動をどのように盛り上げていくか。市政への参加意識を高めるためにも、小平市の良好な事例をメディアにうまく取り上げてもらう必要がある。
公共施設に係る組織横断的なマネジメント体制の構築に向けた検討	市の財政面から考えても、公共施設は大胆に見直ししていく必要がある。機能別や対象年代別に建設されている現在の公共施設は、非常に非効率である。地域センターと公民館がそれぞれ存在しているが、重複感があり、統廃合の対象となりうる。地域にはスーパーや工場などの民間事業者のストックが多様であり、それらを活用させてもらうことも考えれば、相当施設の再編ができるだろう。

*CSR: Corporate Social Responsibilityの略称。「企業の社会的責任」と訳される。

教育功労者を 表彰

6月20日(木)に、市の教育に功勞のあった方の表彰式が市役所で行われ、次の方が感謝状を受けられました(敬称略)。

▽退職者
吉富泉(四小校長)、若林彰(前六

**インターネット上で
一部の使用料・
手数料などの
クレジットカード
決済を開始**

pay-easy
ペイジーマーク

インターネット上にあるYahoo! ー公金支払い(http://koukin.yahoo.co.jp)を利用して、ペイジーマークのある納付書のうち、次に該当するものがクレジットカードで

**中小企業者向け
省エネ促進税制
法人事業税・
個人事業税の減免**

都では、中小企業者が地球温暖化対策の推進の一環として行う省エネルギー設備などの取得を税制面で支援するため、都内の中小規模事業所などで、特定の省エネルギー設備などを取得した場合に、法人事業

小学校長)、松村惇(前五中学校長)、奥山文字(前七小副校長)、伊藤規子、田中勝男、鈴木由美子(前図書館協議会委員)、篠木綱文(前学校歯科医)、望月雅子、辻あけみ、新井恵里(前学校薬剤師)、嶋貴博、森田健次、荒木由季(前学校経営協議会委員)、内野一男、竹内弘信、宮崎庄一、吉井祐子、山後マリ子、奥野富久子、茂木豊子、石井唯夫、井口典子、石澤千恵子、藤沼和子(前学校経営協力者)

納付できるようになりました。

- ①高齢者住宅使用料
- ②緊急一時保育利用負担金、病児・病後児保育利用負担金、市立保育園一時預かり利用負担金、市立保育園延長保育利用負担金(日額利用)
- ③①・②以外で納付金額が1万円以下の使用料ほか

※納付金額に応じた決済手数料がかかります。また、窓口ではクレジットカードを利用できません。

問合せ 会計課☎042(346)9563

今月の税

7月

夜間納税窓口

7月25日(木)に開設

日中に市税の納付や納税相談ができない方のために、夜間窓口を開設しますので、ご利用ください。

7月25日(木) 午後5時～8時

※夜間窓口では、納税証明書の発行はできません。

問合せ 収納課☎042(346)9527・9528

42(523)3171、主税局課
税務法人課税指導課法人事業税係☎03(5388)2963、主税局課
税務課税指導課個人事業税係☎03(5388)2969

▽地球温暖化対策報告書制度、導入推奨機器に関すること:「地球温暖化対策報告書制度ヘルプデスク」☎03(5388)3408

審議会などの 目録

- それぞれ傍聴できます。
- ◆第2回 図書館協議会
とき 7月11日(木) 午後2時から
中央図書館2階会議室
定員 10人
申込み 当日、会場へ(申込み多数の場合は抽選)
- ◆第3回 公民館運営審議会
とき 7月16日(火) 午後1時30分から
中央公民館会議室
定員 5人
申込み 当日、午後1時20分から、
- ◆第1回 住居表示整備審議会
とき 7月23日(火) 午後2時～4時
市役所3階庁議室
定員 10人
申込み 当日、会場へ(申込み多数の場合は抽選)
- 問合せ 市民課☎042(346)9520